

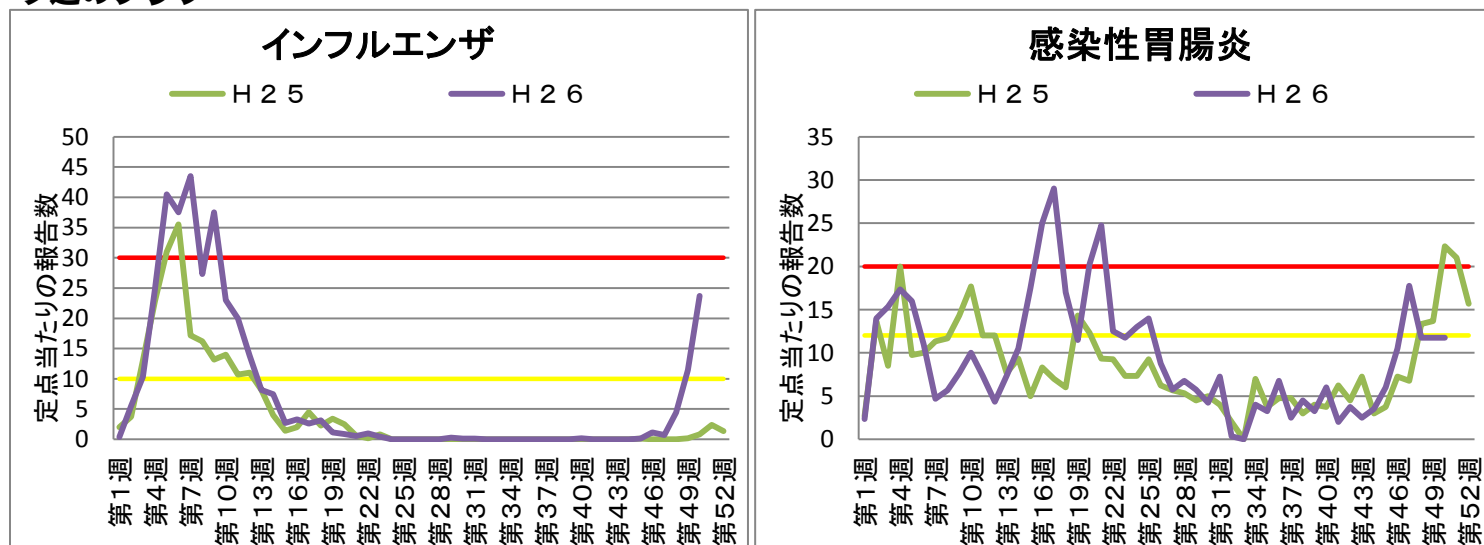
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 50 週 平成26年12月8日 ~ 平成26年12月14日

今週のコメント

①インフルエンザの報告がさらに増加し、定点あたりの報告が23.71件となりました。全国の直近の5週間の報告では、AH3亜型の検出割合が最も多く、次いでB型、AH1pdm09の順となっています。今後さらに拡大し、ピークを迎えるとみられます。②感染性胃腸炎の報告も引き続き高い状況が継続しています(定点あたり11.75件)。③RSウイルス感染症は、先週より減少していますが、例年年末をピークに春まで続くので注意が必要です。④咽頭結膜熱の報告が流行警報基準を超えました。⑤先週、流行警報基準を超えた手足口病は減少傾向です。※様々な感染症が流行していますので、飛沫感染対策としての咳エチケットと接触感染対策としての手洗い等の手指衛生を心がけましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点あたりの報告数	疾病名	定点あたりの報告数
インフルエンザ	23.71	手足口病	3.25
RSウイルス感染症	0.25	伝染性紅斑	1.25
咽頭結膜熱	2.25	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	百日咳	-
感染性胃腸炎	11.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	1.5	流行性耳下腺炎	-

定点あたりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

報告週対応表

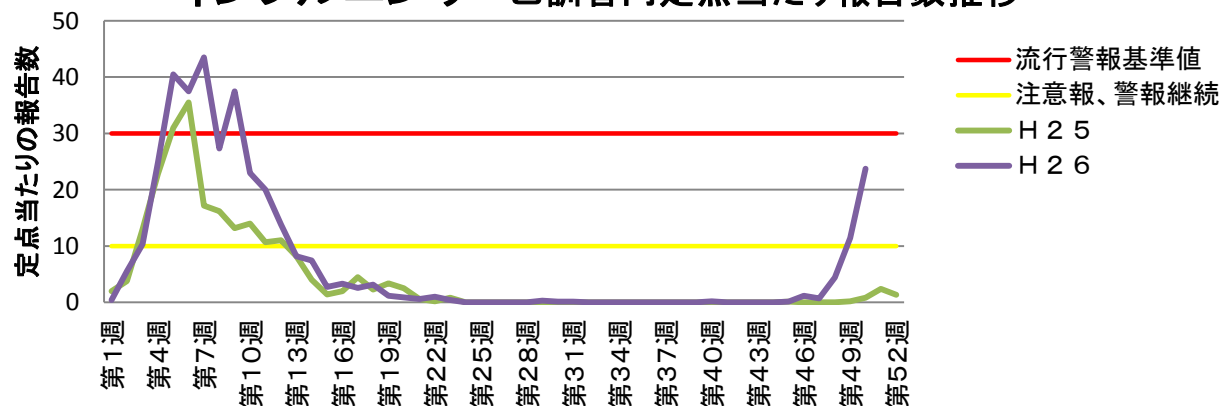
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

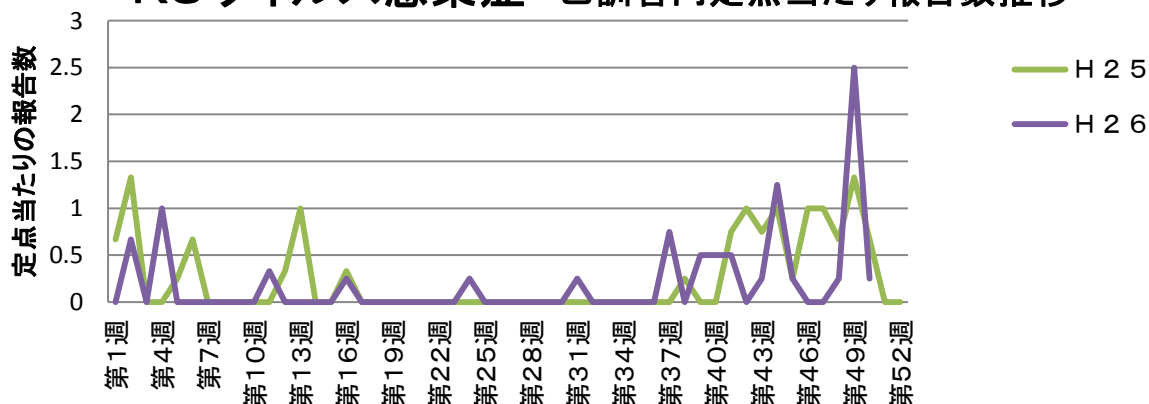
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

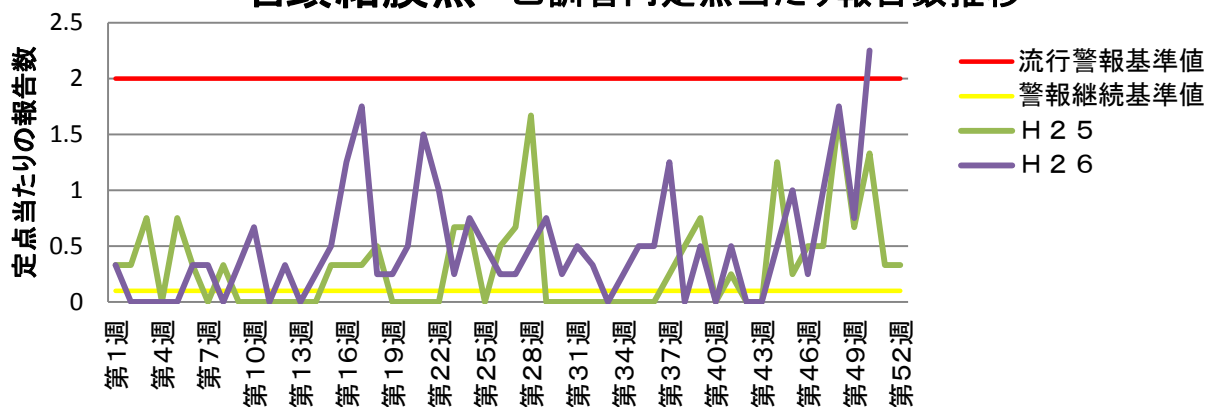
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



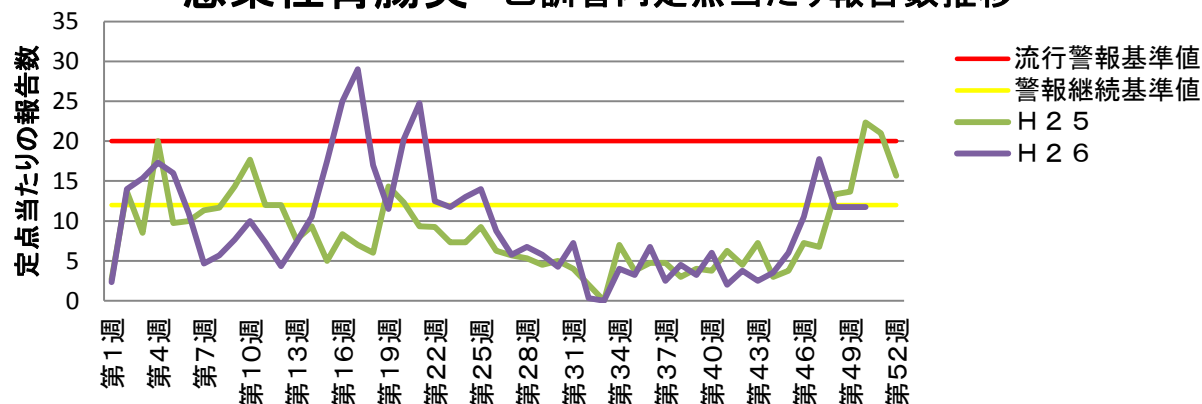
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



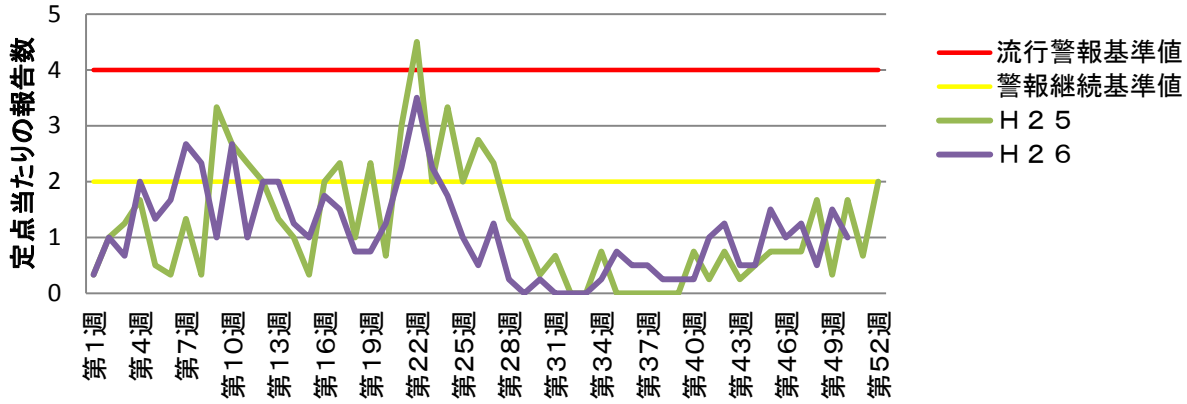
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



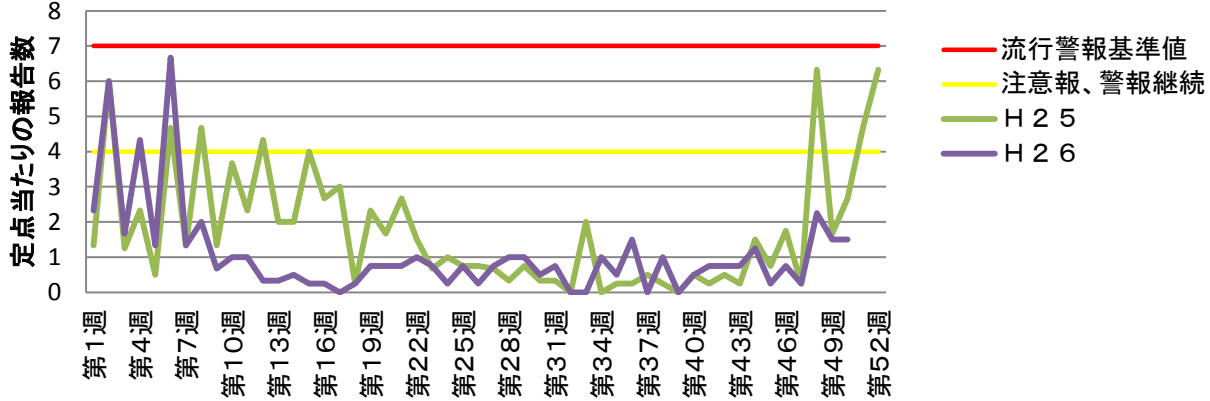
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



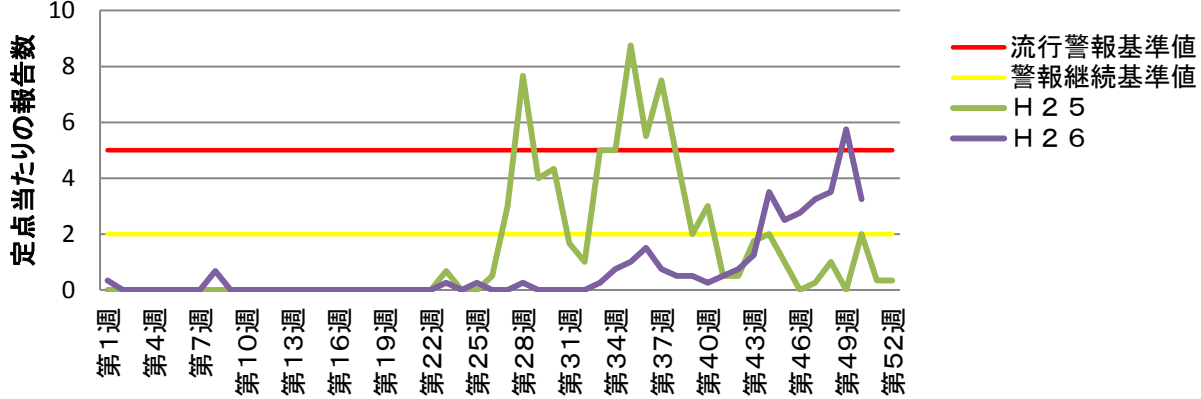
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



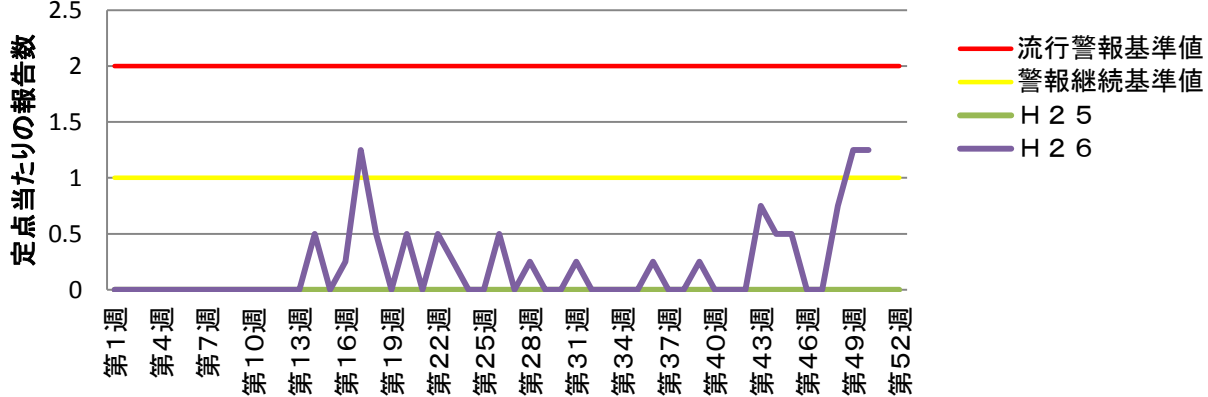
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



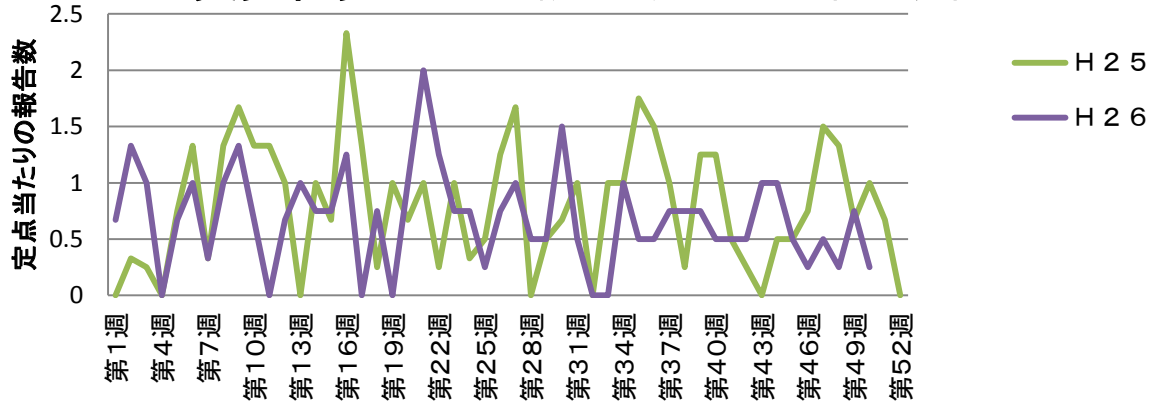
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



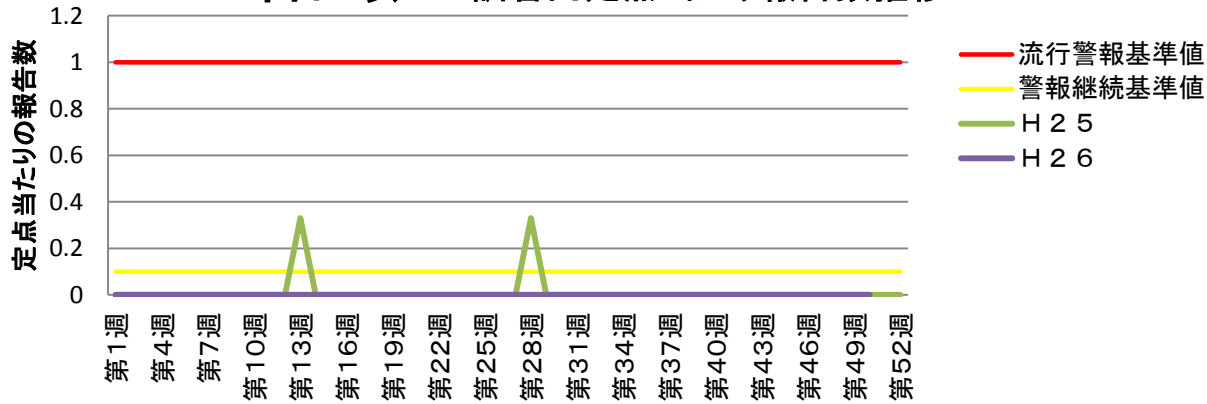
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



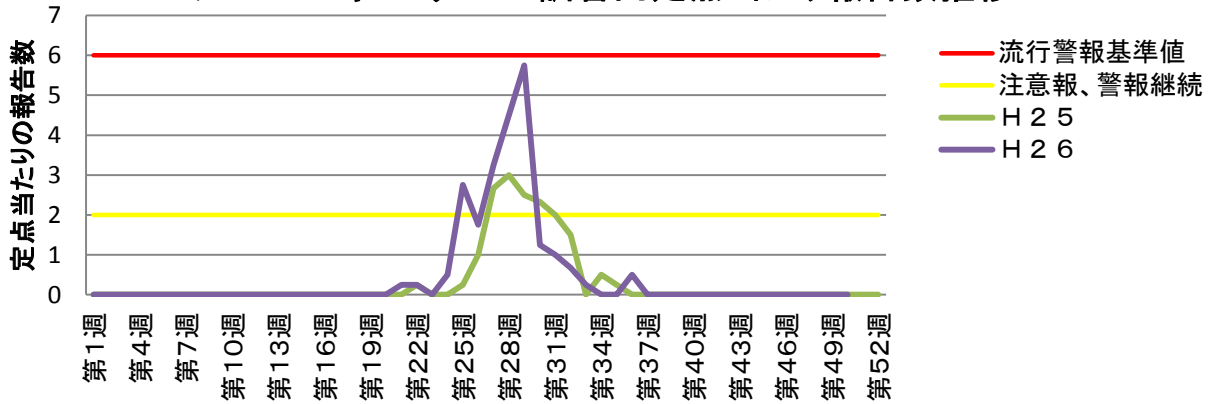
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

